

最近の雇用情勢について

(令和3年9月)

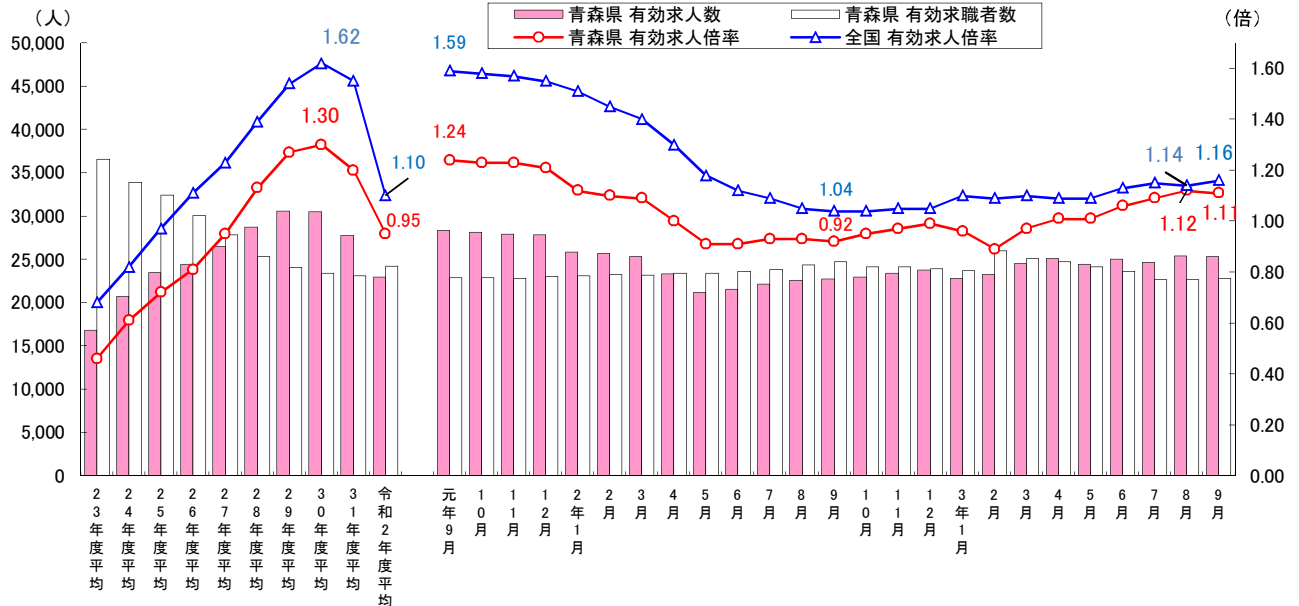
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

職業安定部

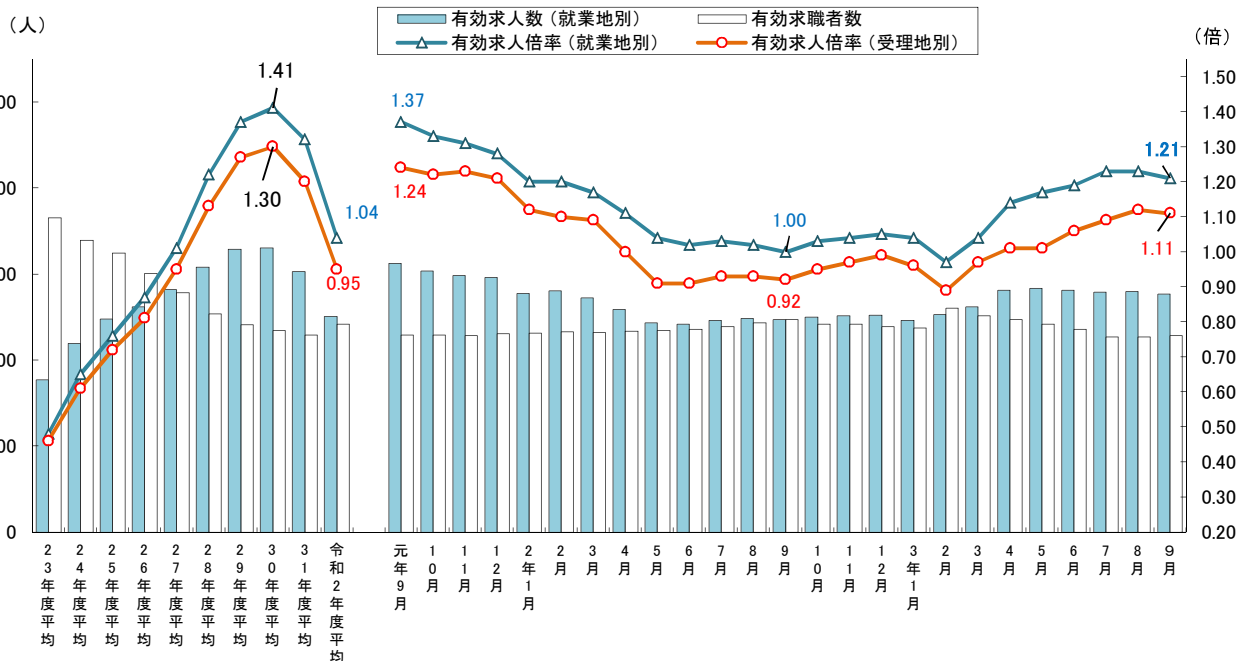
9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ0.4%減少し25,295人、有効求職者数（同）は0.6%増加し22,807人で、有効求人倍率（同）は1.11倍となり、前月を0.01ポイント下回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.21倍で前月を0.02ポイント下回り、受理地別の倍率を0.10ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）

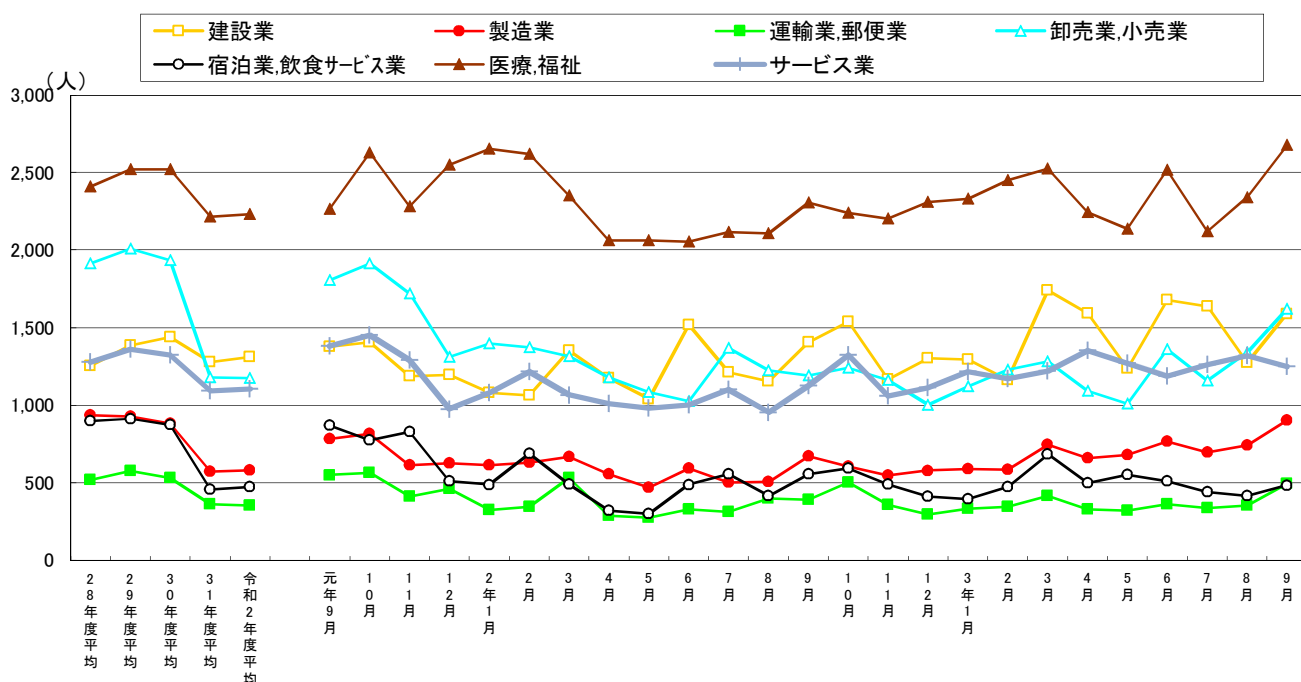


全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和2年12月以前の数値は、令和3年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

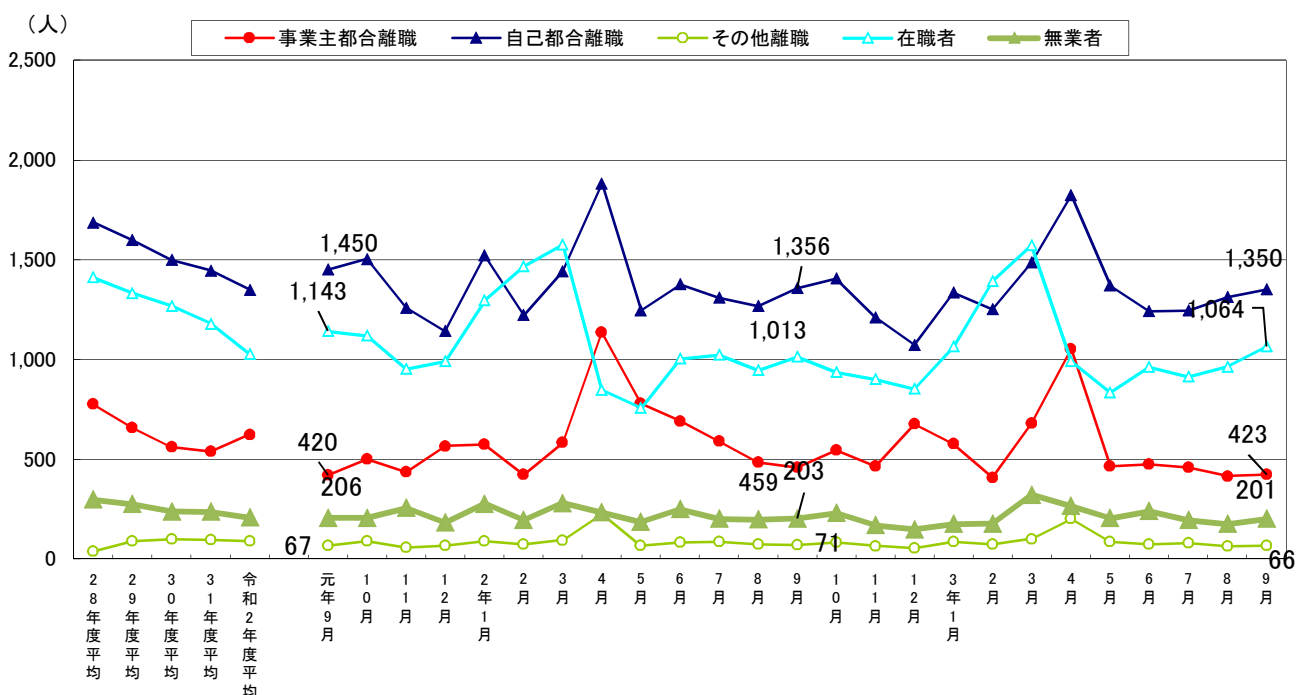
9月の新規求人数(原数値)は前年同月比13.4%(1,224人)増加の10,338人。主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月と比較して建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、医療、福祉、サービス業で増加し、宿泊業、飲食サービス業で減少した。製造業では、輸送用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業で減少し、それ以外の業種では増加した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

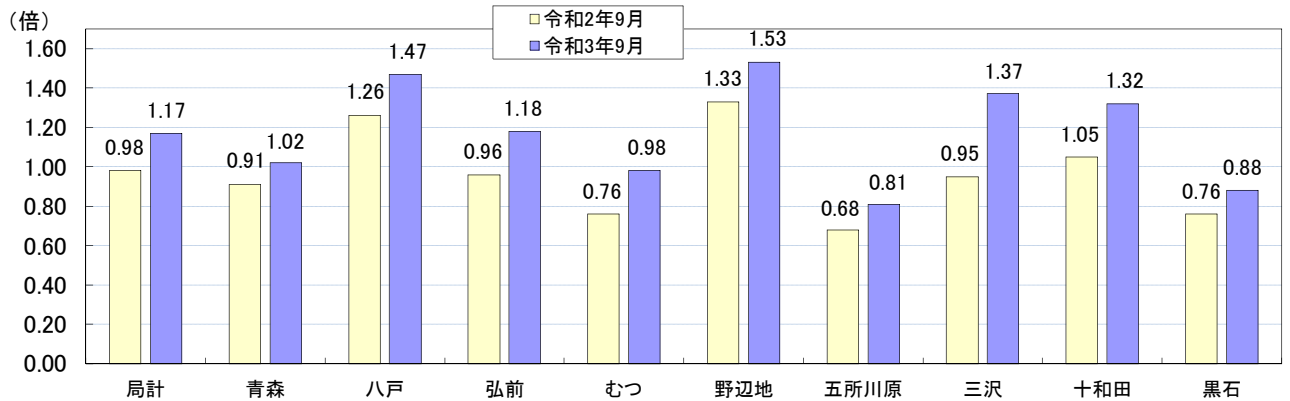
III 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比0.1%(2人)増加の3,104人。在職区分別に前年同月と比較すると、在職者は5.0%(51人)増加、離職者は2.5%(47人)減少、無業者は1.0%(2人)減少した。離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比7.3%(36人)減少し、自己都合離職は同0.4%(6人)減少した。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.17倍となり、前年同月より0.19ポイント上昇した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R3.9	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,066	5,547	4,824	4,293	1,099	786	2,051	1,237	915	1,314
有効求人数	25,836	5,683	7,096	5,049	1,077	1,205	1,669	1,689	1,211	1,157

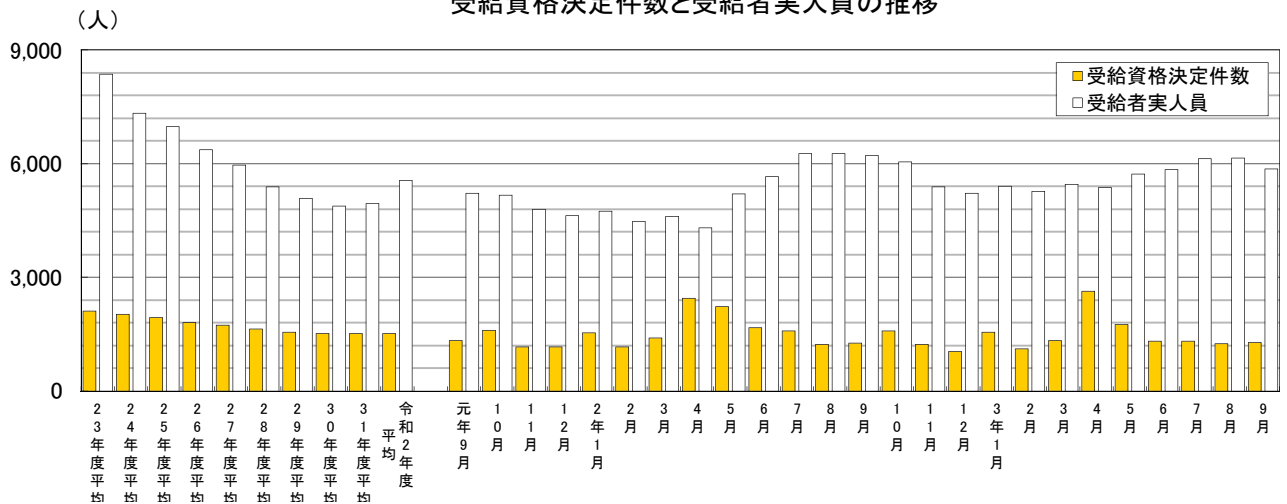
(単位:人)

V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比5.5%(342人)減少、前月比では4.7%(287人)減少の5,867人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.5%(19件)増加、前月よりも2.9%(36件)増加し1,280件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比18.8%(64人)減少、前月比136.8%(160人)増加し277人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

